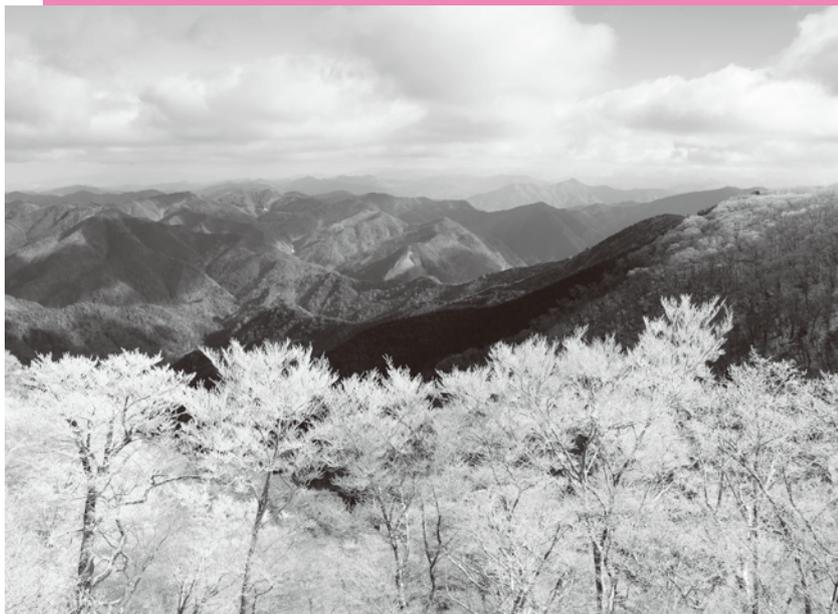


# あおひび

2017年



奈良県野迫川村 立里

## もくじ

- 「名もなき石像」……………1
- 平成28年度事業の経過報告  
……………2
- 施設紹介……………5
- マスコットキャラクター名前  
いち奈ちゃんに決定……………8
- 編集後記……………8
- 中和ブロック福祉フェア広告……………9

## 「名もなき石像」

奈良県老人福祉施設協議会 副会長 植田 誠

日課の早朝ランニングは決まって同じ道だ。奈良公園の四季を感じながら、行き交う僅かな人同士は自然と顔を知るようになり、やがては声を掛け合うようにもなる。同じ時と所を共有する一体感に包まれながら、それぞれがこだわりのあるルーティンをこなす。

名所から少し外れたところにその石像は立つ。古跡でもなかりうし単なる置石かもしれない。風雨にさらされ周りの土草と同化しているその石像に向かって、拝する人を見かけたことはない。しかし存在感はある。周囲が如何に進化し整備されようと、動じず揺るぎのない腰の据わった風情は、とかく一喜一憂

する社会や私をあざ笑っているかのように、日々変わらず凜と落ち着き払っている。

制度改正や報酬改定の議論が大詰めを迎えている今日、施策をめぐる動向には常に我々はアンテナを張る必要がある。時には声高らかに訴え、時には心澄まして受け止めなければならないこともある。

そんな今だからこそ問われていること、それは日常の在り方であろう。

変革にどう向き合うか、の前に今ある姿を見つめ直す。どんな波風が来ようとも自信に満ち溢れた日常の在り方、名もなき石像は変わらずそのことを指南してくれているようだ。

# 奈良県老人福祉施設協議会 平成28年度事業の経過報告

## 広報啓発委員会

委員長 大森 岩一郎 (檀原園)

### 1.機関誌「あおによし」の発行

奈良県老協機関誌「あおによし」を今年度2回の発行として、第26号を平成28年9月に、第27号を平成29年2月に発行し、会員施設をはじめ、市町村行政や市町村社協等関係機関に配布いたしました。

### 2.介護の日啓発活動事業

11月5日「介護の日」の奈良県における取り組みとして、関係団体により構成された実行委員会にて「なら介護の日2016」として事業企画し、本会を中心とした啓発部会では、「介護の日」を啓発するチラシを作成・配布し、誰にとっても身近な介護について考える機会であることを啓発いたしました。チラシ配布にご協力いただき、誠にありがとうございました。

### 3.介護と仕事の両立支援事業

企業における介護と仕事の両立を支援するため、県内企業団体に無料出前介護相談会の案内チラシを送付し、企業にケアマネージャーを派遣しました。

### 4.ホームページの運営

奈良県老協ホームページを随時更新しています。組織活動をはじめ、施設種別・市町村別に会員施設情報を掲載し、各施設のホームページへリンクすることができます。また、新しく活動報告掲示板を作成し、定期的に更新していきます。



石飛 幸三 氏



研究分科会発表の様子

### 2.テーマ別研修

平成28年12月9日(金)、県社会福祉総合センターにて「福祉の「人材」を「人財」に変えるには!!」をテーマに、本間秀司氏をお迎えして、テーマ別研修を開催し、約100名の会員内外の皆様にご参加いただきました。人材確保のための具体的なノウハウ、組織のトップとしての考え方、ビジョン、成功戦略について学びました。



本間 秀司 氏

## 職種別研修委員会

委員長 山本 忠行(テンダーヒル御所)

### 1.介護福祉士ファーストステップ研修

介護福祉士資格を有し、将来グループリーダーとしての役割を期待される介護職員を対象に、尊厳を支えるケアが実践でき、チームのリーダーや新人職員等の指導係として任用することが期待できる職員を育成することを目的に実施いたしました。13日間の集合研修と自職場課題に取り組まれた30名の受講者は、本研修の第7期生として修了を予定しています。明日の介護リーダー育成に繋がる研修として、次年度開催時におけるご参加を是非ともご検討ください。



ファーストステップ研修

### 2.介護福祉士ファーストステップ研修-修了者フォローアップ研修

平成28年9月16日(金)、県社会福祉総合センターにて介護福祉士ファーストステップ研修の修了生を対象としたフォローアップ研修を開催いたしました。23名に参加いただき、ファーストステップ研修での学びを振り返りながら、各施設においてリーダーとしてさらなる活躍を目指して、久々の再会を分かち合いながら、学びを深めました。

### 3.生活相談員研修

平成28年12月2日(金)、県社会福祉総合センターにて「相談援助を知り、相談援助を極める」～人と人を言葉で繋ぐ～をテーマに、植田寿之氏をお迎えし、生活相談員研修を実施いたしました。33施設40名の方にご参加いただき、相談援助の専門性を高める貴重な機会となりました。



植田 寿之 氏

## テーマ別研修委員会

委員長 植田 誠(やすらぎ園)

### 1.第29回奈良県老人福祉施設職員研究会議

例年開催しております奈良県老人福祉施設職員研究会議は下記の内容で開催いたしました。会員内外の約260名の皆様にご参加いただきました。

開催日:平成29年1月27日(金)

会 場:県社会福祉総合センター

テーマ:「我々が創る、福祉と介護の新時代!」

～魅力あふれる施設!未来ある地域を!～

記念講演:「平穏死のすすめ」

特別養護老人ホーム 芦花ホーム常勤医 石飛 幸三 氏

研究分科会発表:15施設18名

また、2ヶ月に1回、「生活相談員いとも」と称し、会員生活相談員が主体となり、事例・企画を募り、龍谷大学短期大学部社会福祉学科 早川 明 氏の助言もいただき、情報交換を行っています。今年度は計6回の実施となり、毎回20名前後のご参加をいただいています。

#### 4.看護職員研修

平成28年11月2日(水)、県社会福祉総合センターにて「あなたにもできる!フィジカルアセスメント」～看護職員に必要な知識・技術とは～をテーマに、公益財団法人天理よろづ相談所病院SCU副看護師長 正田 世津子 氏(集中ケア認定看護師)正田世津子氏をお迎えし、看護職員研修を実施いたしました。26施設37名の方にご参加いただき、介護施設におけるより良いケアを提供について学びました。



正田 世津子 氏

#### 5.施設長県外研修会

平成28年10月18日(火)～19日の2日間開催し、39名の施設長並びに管理者の方々にご参加いただきました。1日目は、辻村泰範会長からの情勢報告、県長寿社会課筒井昭彦課長による行政説明の後、社会福祉法人神戸老人ホーム在宅統括所長・管理者伊賀浩樹氏に「神戸市老人福祉施設が揺れた」～阪神・淡路大震災が残した教訓・被災地からの提言～というテーマで、貴重な講演をいただきました。2日目は「北淡震災記念公園」での現地視察を行い、今後の老人福祉施設の防災及び災害対策のヒントを得ることができました。



伊賀 浩樹 氏

#### 6.施設介護支援専門員研修

「施設ケアマネジメントのあるべき姿に向けて～いまわたしたちはここにいます～」をテーマに、第1回目を平成28年12月12日(月)に65名、第2回目を平成29年1月16日(月)に47名の方にご参加いただき、県社会福祉総合センターにて施設介護支援専門員研修を開催いたしました。施設介護支援専門員研修担当チーム発足したワーキングチームが作成した「施設介護支援専門員の手引き」を元に、ワーキングチームが主体となり助言者として福井県立大学教授奥西栄介氏を迎え、「施設介護支援専門員におけるケアプラン」と「施設介護支援専門員におけるモニタリング」を深めました。



ワーキングチーム講師陣

#### 7.事務職員研修

平成28年11月25日(金)にまほろばセンターにて、『元気である働くために知っておく労働法世情と「ほうれんそう」を活かした快適なコミュニケーションがある職場』～毎日の仕事をもっと楽しくしていく工夫を考えてみませんか?～をテーマに、平松 和子 氏(朗務事務所所長)平松和子氏をお迎えし、事務職員研修を開



平松 和子 氏

催いたしました。42施設56名のご参加をいただき、日々の仕事の質を高める貴重な経験となりました。

#### 8.介護職員実践講座

介護職員の実践力の習得、「介護」のやりがいの共有、専門職としてキャリアアップ、施設・事業所の介護サービスの質の向上を目的に、計5回の介護職員実践講座を開催いたしました。会員内外から毎回約130名の方々に受講いただき、介護の基本から医療面、専門的ケアまで幅広い内容を学びました。



介護職員実践講座の様子

### 調査研究委員会

委員長 森川 敬介(美吉野園)

#### 1. 予算対策事業

「平成29年度施策並びに予算に関する要望書」として取りまとめ、平成28年11月9日(水)に奈良県・奈良県議会、11月17日(木)に奈良市に対して提出いたしました。

介護人材確保への取り組みや地域包括ケアシステム構築における老人福祉施設の役割発揮など行政とともに直面する課題に取り組んでいくことを要望いたしました。

#### 2. 「運営(経営)実態調査」を8月に配布し、回収後、集計分析のうえ、報告書としてまとめ、2月2日(木)に清友監査法人見敏之氏を迎え、個別説明会を実施しました。

#### 3. 特別養護老人ホーム待機者状況調査

平成27年度に引き続き、平成28年10月現在の特別養護老人ホーム待機者状況調査を実施いたしました。

### サービスの質向上委員会

委員長 秋吉 美由紀(ならやま園)

#### 1. サービスの質向上研修

平成28年度はソフト面のサービスの質向上を目的とし、平成28年11月10日(木)にまほろばセンター、平成29年2月7日(火)に奈良県産業会館にて、計2回研修を開催しました。医療法人社団緩和ケアクリニック・恵庭介護部門統括山下総司氏を講師とし、施設において良質なサポートを提供する工夫や実践のポイントを学びました。



山下 総司 氏

### 地域貢献検討委員会

委員長 林 芳繁(ひびきの郷)

#### 1. 地域貢献セミナー

平成29年3月17日(金)にかしはら万葉ホールにて、地域貢献セミナーを開催します。奮ってご参加ください。

講演:「社会福祉法の改正による地域貢献とは」

講師:関西学院大学 人間福祉学部人間福祉研究科 教授 石川 久展 氏

その他

【特養部会】

1. 栄養士研究会

特別養護老人ホーム部会に栄養士研究会を設置し、各施設の栄養士間の意見交換及び資質向上を目指して活動を行っており、施設種別を問わず、会員施設の栄養士を対象に研修を行いました。

<第1回>平成28年6月7日 参加者数 48施設52人

総会 トロミ測定

<第2回>平成28年11月21日 参加者数 35施設36人

栄養士ケア 計画書作成

<第3回>平成29年1月28日 参加者数 42施設43人

テーマ:「災害時の対応を考える」

講師:熊本県栄養士会副会長 田上 あつみ 氏



栄養士研究会様子

【養護部会・軽費老人ホーム部会合同】

1. オープンセミナー

養護老人ホーム及び軽費老人ホーム・ケアハウスの役割と利用のしくみを広く知っていただくために開催しているオープンセミナーは6回目を迎え、今回は、城西国際大学福祉総合学部准教授清水正美氏の講演と事例発表を行うオープンディスカッションを開催いたしました。奈良県老施協会員施設、市町村職員、居宅介護支援事業所職員、地域包括支援センター職員、老人保健施設職員、病院の地域医療連携室職員、民生委員・児童委員等を対象に、134名にご参加いただきました。

開催日 平成28年7月27日(水)

会場 奈良県橿原文化会館

<プログラム>

・基調報告 奈良県老人福祉施設協議会 辻村会長

・講演 「改めて問う:養護老人ホーム・

軽費老人ホームって何だろう?

～地域に根差した社会資源であるために～

・オープンディスカッション

「施設に“繋ぐ”という方法とその支援のポイント

～施設を“活用する”という視点の学びとわかち～



オープンディスカッション様子

【進行・問題提起】聖ヨゼフホーム 平岡 毅 氏

【発題者】<養護>美吉野園・田中博久氏、慈母園・森 史子 氏

<軽費>大倭滝の峯荘・矢追 法亮 氏

<ケアハウス>三輪の里・窪田 伊久男 氏

<在宅介護支援センター>橿原園・堺 浩平 氏

【養護部会】

1. 生活相談員連絡会

平成28年10月5日(水)に県社会福祉総合センターにて、生活相談員連絡会を開催いたしました。9施設14名にご参加いただき、研修等の報告・共有・企画、養護老人ホームの現状と課題について情報交換を行いました。

2. 養護老人ホーム職員研修

平成29年3月9日(木)に養護老人ホーム職員研修を県社会福祉総合センターにて開催します。奮ってご参加ください。

【在宅部会】

1. 在宅サービス研修会

平成29年3月12日(日)に在宅サービス研修会を県社会福祉総合センターにて開催します。奮ってご参加ください。

講演 「介護保険制度と在宅サービスのゆくえ」

講師 桜美林大学大学院 老年学研究科 教授 白澤 政和 氏

【福祉人材確保モデル事業】

中和ブロック29施設により実行委員会を設立し、「中和ブロック福祉フェア」を開催いたします。「見て・聴いて・感じる福祉の魅力発見」と題し、地域に向け福祉や介護の魅力を伝え、現在及び未来の福祉・介護人材を確保していくことを目的とし、講演会や就職・健康・展示ブース等を実施いたします。

開催日:平成29年2月26日(日)

場所:かしはら万葉ホール

記念講演:「父母との介護生活」 春 やすこ 氏

【地域密着型サービス連絡会】

平成28年11月7日(月)に県社会福祉総合センターにて、会員施設法人が運営する地域密着型サービス事業所を対象に、18施設24名のご参加をいただき、サービスの質の向上を目指した意見交換を実施いたしました。

【施設長連絡会議】

平成28年6月17日(金)にリガーレ春日野にて、「社会福祉法人制度改革と老人福祉事業」をテーマに、奈良県老人福祉施設協議会 辻村会長にご講演いただき、施設長連絡会議を開催いたしました。93名の方にご参加いただき、社会福祉法人が提供する福祉サービスの意義と内容を再確認しました。

【近畿老人福祉施設協議会 施設長研修会】

奈良県が開催県とし、平成29年2月16日(木)～17日(金)にホテル日航奈良にて、近畿老人福祉施設協議会施設長研修会を開催いたします。奮ってご参加ください。

<テーマ>「高齢者福祉の将来像を探る」

～多様性が求められる世界観の中で～

<プログラム>

講演①:「日本の社会保障そのあるべき姿」

財務省主計局調査課主計企画官 八幡 道典 氏

講演②:「大切なものは目に見えない」

大阪大学副学長 吉川 秀樹 氏

講演③:「ジャーナリストから見る高齢者福祉の現場」

朝日新聞 久永 隆一 氏

記念講演:「おもしろ仏教講座」

吉本クリエイティブ・エージェンシー所属 漫才師 笑い飯 哲夫 氏

施設紹介

社会福祉法人総合施設 美吉野園

『暮らしやすい居住環境を目指して  
(施設改修報告)』

社会福祉法人総合施設美吉野園特養寮【定員180名（入所160名、短期入所20名）】では、多床室【二人部屋（42室）、四人部屋（20室）】に入所されているご利用者の居住空間の質向上を図る事を目的として、奈良県地域密着型サービス施設等整備促進事業補助金の交付を受け、平成27年度、28年度、2ヵ年にわたりプライバシー保護のための準個室化を進め、ご利用者が、心安らぐ、暮らしやすい居室環境づくりを図り、個人の尊厳が保たれるべき暮らしが実現できる多床室の改修工事を行いました。

この改修工事により、全てのご利用者のプライバシーが確保され、ご利用者個々の生活空間が生まれ、理念の実現に一步近づきました。

新たな空間は、日本が誇る木や障子という和のテイストをふんだんに取り入れています。これは、この吉野という地域の特徴でもあり、多くのご利用者が木のぬくもりに接しながら過ごされてきたものと思われ、慣れ親しんだ生活空間をすこしでも継承することで、ご利用者に安らぎを感じて頂き、安心感にもつながる事ができました。

この新たな生活空間でゆったりとした時が流れ、安らぎと幸せを感じていただけるように努めてまいります。



2人部屋



4人部屋

施設紹介

社会福祉法人 祥水園



平成28年5月、社会福祉法人祥水園は開設40周年の節目の年に建て替えを行い、“野原西Village”として奈良県五條市に開設いたしました。今まで1つであった特別養護老人ホーム祥水園は、特別養護老人ホーム水がたり（従来型多床室50部屋・ショート4部屋）、特別養護老人ホーム水杜（ユニット型個室60部屋）の2事業所となり、名称が変更となりました。

祥水園の大きな特徴は、械浴・リフト浴がなく、完全個室での支援や外出支援で旅行や外食の機会が多いです。また、理学療法士・機能訓練指導員や歯科衛生士など多くの専門職が協働し、ご利用者の生活を支援しています。ご利用者の思いを諦めさせないために、介護職がご利用

者の思いを諦めさせないために介護の技術や考え方を常に学び、日々の介護に活かしています。

もう一つの大きな特徴は、毎月介護技術セミナー「I wish…」を開催しています。誰にでも参加していただくことができ、他施設の介護職や地域・企業など様々な分野からの参加があり、少しずつですが参加者も増えています。人間の動きを基に介護をすることでご利用者も介護する人にも負担がない介護の技術をセミナーで教えさせていただいています。また、この技術を身につけることで、今まで諦めていけなかったところへも行くことができるようになります。

皆様の大切な人の思いを諦めさせないために、諦めないために祥水園ができることをやっていきたいと思えます。



施設紹介

老人総合福祉施設 **あくなみ苑**

『あくなみ苑・多床室のプライバシー保護の為に改修事業』



老人総合福祉施設「あくなみ苑」は、平群町・斑鳩町・安堵町・王寺町・河合町・上牧町・三郷町の三室園組合により設置され、「社会福祉法人 宝山寺福祉事業団」が指定管理を受けて運営している公設置民営施設です。特別養護老人ホームを中心に、ショートステイ、デイサービス、居宅介護支援事業所、ケアハウスを運営しています。

この度、国の補助金を活用し「特養多床室のプライバシー保護の為に改修事業」を進めさせていただいた事をご紹介します。プライバシー保護について、現在厚労省はユニット型個室の整備を促進しています。そ

の様な国の考え方の中で、あくなみ苑の従来型多床室についても「居住環境を向上させる観点から、プライバシーに配慮した多床室のあり方」を考えて整備に踏み切らせていただきました。

全ての部屋の整備にはなりませんでしたが(ショートステイの居室は補助金対象外だった為)、個室を省く60床のうち46床を障子による間仕切りがH28年4月に完成いたしました。しかし、既存の多床室に仕切りを作った事により介護場面で、特に移乗介助についての課題が出来ました。今後重度化が間違いなくすすむであろう特養で、間仕切りが出来た事でのマイナス面もありますが介護の安全面においては、プロの介護士達が知恵を凝らして介護に務めていきます。

ご利用者・ご家族からは「仕切りができて雰囲気がとても良くなりました」「カーテンより壁がある事で落ち着く空間になりました」等々、ご好評をいただいております。



施設紹介

社会福祉法人 **ひびきの郷**

背負い式介護ロボット「ひびき」号の開発



東京ビックサイトにて、奈良高専、早川教授と林理事長

社会福祉法人天寿会の理事長として、昭和63年より特別養護老人ホームひびきの郷を運営してきましたが、新人介護職員の腰痛問題に直面し、それを理由に退職する職員達の事を考え、何としてでも、離床介護を福祉工学の支援で解決できないものかと思案し、介護ロボットの開発によって着手しようと思案した結果、平成18年、私は、この熱意だけをもって、奈良工業高等専門学校の門をたたきました。

もちろん、当時は、奈良高専の誰のご縁もなかった為、不安を抱えながら足を運んだことを今でも鮮明に覚えて

います。窓口でご挨拶をさせていただくと、学校関係者のある方が、「大変、母が施設で永年お世話になっております」との一言で介護ロボット開発の道は開けました。そのご家族の職員様の御支援により、早川教授との出会いが始まりました。

苦節11年、ひびきの郷施設職員と奈良高専の開発チームと意見を交わし思考錯誤しながら、寝たきりの方をベッドから車いすへ移乗することができる『背負い式移乗機ひびき号の介護ロボット』の開発に成功致しました。

自力で移乗できない方を移乗機が、おんぶするよう移乗し、安全面を考慮し体の6カ所を保持し車いすへ移乗します。また、要介護者を乗せたまま移動(自走)も可能であり、座部の調整や8種の音声により安心感を与え、身体的な負担や不安、そして、移乗時に介護者への負担を軽減することが可能となりました。

その開発介護ロボットを国の特許も取り、2014年、2015年、2016年「東京ビックサイト」の「ホスペックジャパン」又「インテックス大阪」にも展示し、多くの関係者より絶賛されております。



施設紹介

特別養護老人ホーム 光明園

『介護サービスにも国際化の時代が』



光明園は昭和56年、奈良県の中和圏域にあたる高取町で開設されました。当園を運営する法人の母体は、古くから目の観音様として信仰を集める壺阪寺で、境内には姉妹園で我国最初の盲老人ホーム慈母園があります。

我法人では昨今の人材難にむけ、高齢化がピークを迎える2025年を見据えて、数年前よりその対応策を検討してきました。その選択肢の一つとして、試行的に当園でのEPA（経済連携協定）による外国人介護福祉士候補者の受入れを決めました。最初の受入れは平成23年度で、日本語学習と3年間の実務経験のもと、本人達の努力は勿論の事、様々な皆様のご協力とご支援を頂き、

現在では資格を取得した3名のインドネシア人介護福祉士が勤務しております。そこで次のステップとして、今年度は新たに候補者1名を受入れ、更に来年度にも1名の受入れを予定しております。

当初はやはり宗教や文化、言語や習慣そして国民性等の違いからご利用者やご家族様に受入れてもらえるかという不安を感じたのも事実であります。ところが、カタコトの日本語で辞書を片手に懸命にコミュニケーションをとる姿勢に好感が持たれ、言葉の習得と共に信頼を得ていきました。彼女らは本国では看護師のライセンスを持ち、中には就労経験者もおりますので、日本式の介護技術や知識についても非常にスピーディーに修得してくれました。我々の業界でも近い将来、大きな戦力と成り得る手応えを感じているところであります。



施設紹介

特別養護老人ホーム 室生園

「元気で。」EPA介護福祉士候補生



室生園は昭和63年7月に奈良県東部、女人高野で有名な室生寺の近くに県下20番目の特別養護老人ホームとして50床で開設いたしました。開設以来28年が過ぎ、現在は90床で運営させて頂いております。

さて、急激な高齢者人口の増加や介護保険制度の充実により、高齢者への介護事業が拡大する一方、少子化の影響や介護という仕事に魅力が見いだせないというようなことから、介護現場では多くの労働力を必要としながら、良い人材が確保できないのが現状となっております。

そのようななか、昨年EPA（経済連携協定）による介護福祉士候補生を受入れましたのでご報告いたします。EPAは平成20年、インドネシアからフィリピンそして平成26年にはベトナムとも始まりました。私どもはベトナムから2名、フィリピンから2名の受入を行いました。受入の狙いは労働力の確保というより、何となく沈滞気味の介護現場に新しい風を入れたいとの思いでしたので、大変良かったと思います。EPAの皆さんは日本で介護の勉強をすることや仕事をするにととても熱心です。そして介護現場で働く日本人が忘れてしまったものをたくさん持っておられるように思います。そんな候補生を指導するうちに現場の雰囲気も良くなり、元気が出てきました。日本語や習慣に対応できるか、ご利用者に受け入れて頂けるかなど心配しましたが、嬉しいことに全くの取り越し苦労に終わっています。





## 奈良県老人福祉施設協議会マスコットキャラクター名 「いち奈ちゃん」に決定!!

会員みなさま、たくさんの投票ありがとうございました。  
 会員施設よりネーミングを募集させていただき、平成28年10月18日(火)～  
 19日(水)の施設長連絡会(県外研修)での審査の結果、「いち奈ちゃん」に名前が  
 決定いたしました。

**命名理由** いちごの「いち」と奈良県の「奈」をとって名付けました。

**選考理由** だれにでもすぐに覚えられ、親しみが持てる。

### 命名式・授賞式



平成29年1月27日(金)に開催された第29回奈良県老人福祉職員研究会議で命名式と名付け親の授賞式が行われました。

○名付け親  
 社会福祉法人総合施設美吉野園  
 職員 坂本 充子 さん

これからも「いち奈ちゃん」をどうぞよろしく  
 お願いいたします♪

- いち奈ちゃんの夢と願い
- ①こども達の健康と成長
  - ②高齢者の健康と長寿
  - ③福祉・介護の仕事の魅力を伝える

### 編 集 後 記

この度、広報誌「あおによしNO. 27号」の発行に当たり、施設紹介の中で新しい取り組みをされている施設で、介護ロボット・外国人介護人材受入れ等を積極的に受け入れておられ、熟慮致しました。関係者様のご協力に感謝申し上げます。

さて、今後、高齢化社会を支えるマンパワーも大きな課題です。2025年問題は団塊の世代の問題でもあります。すべての高齢者がサービスを受ける側にまわるわけではありません。全世代の中で最大の人口を持つ団塊の世代が、積極的に支える側に立ち続けると意思表示をすれば、わが国の超高齢化社会は世界に誇ることができるかもしれません。

あまがし苑 橋本 忠明



**入場無料**  
どなたでも  
ご自由に参加  
ください

奈良県老人福祉施設協議会 **中和ブロック**

奈良県老人福祉施設協議会  
マスコットキャラクター  
**いち奈ちゃん**

# 福祉フェア



～見て・聴いて・感じる福祉・介護の魅力発見～  
高齢者介護について知りたいあなたへ

平成**29**年**2**月**26**日(日) **12:30**～

**ステージイベント**

**12:50**～ 「幻想歌舞～きさらぎ～」  
オリジナル和装ショー



織彩色舞

**13:30**～ 養護盲老人ホーム「慈母園」  
入園者による劇団の演劇



愛園座

**講演**

**14:15**～**15:45** 父母との介護生活



春やすこ

両親との在宅介護の経験を活かし、  
やすこ流「ええ格好せん」介護について  
お話いただけます。

**ロビーイベント**

**キッズ  
コーナー  
スタンプ  
ラリー**  
(景品もあるよ)



福祉のしごと体験  
福祉用具セラピー体験



就職・介護相談

**会場**

かしはら万葉ホール  
ロマンピアホール  
奈良県橿原市小房町11番5号

主催 奈良県老人福祉施設協議会 / 共催 (社福)奈良県社会福祉協議会  
協力 (公財)関西文化学術研究都市推進機構・(社団)日本福祉車両未来研究会  
(一社)日本福祉用具供給協会 奈良ブロック  
(特非)日本理美容福祉協会 奈良センター   
後援 奈良県・橿原市・大和高田市・御所市・香芝市・葛城市・高取町・  
明日香村・広陵町・橿原市社会福祉協議会  
問い合わせ：奈良県老人福祉施設協議会事務局 TEL 0744-29-0100 (代)  
養護老人ホーム橿原園 TEL 0744-27-2424

